

資料No. 2

令和 5 年度

清川村地域包括支援センター活動状況

令和5年度清川村地域包括支援センター活動状況

地域包括支援センター設置状況（平成18年4月1日設置）

- (1) 設置箇所数 1箇所（役場子育て健康福祉課内）
- (2) 運営方法 村直営
- (3) 職員数 2名（主任介護支援専門員兼保健師1名・
社会福祉士兼介護支援専門員1名）

I 介護予防・日常生活サービス事業

(1) 介護予防ケアマネジメント事業

個々の対象者ごとに、介護予防サービスの種類や内容等を定めた計画を作成し、尊厳の保持と自立支援に努めました。

対象者内訳	総合事業対象者	18名
	要支援1	22名
	要支援2	2名
	合計	42名

(2) 一般介護予防事業

① 訪問指導・在宅訪問機能訓練

通所での介護予防事業に参加が困難な高齢者を対象に、理学療法士・保健師によるリハビリ訓練及び生活習慣病予防指導等を実施しました。

実施場所	対象者宅等
実施回数	年間6回
参加者数	17名

② 高齢者栄養改善教室（隔年実施）

高齢者及びその家族を対象に、災害時における限られた食材や調理環境の中での高齢者の食事の工夫など、管理栄養士による講話や実践を実施しました。

実施場所	生涯学習センターせせらぎ館 みどりホール
参加者数	24名
講演内容等	令和5年6月26日（月） 講話：災害時の高齢者の食事と日頃からの災害時の備え

③ 転倒予防教室（にこにこあしあし体操教室）

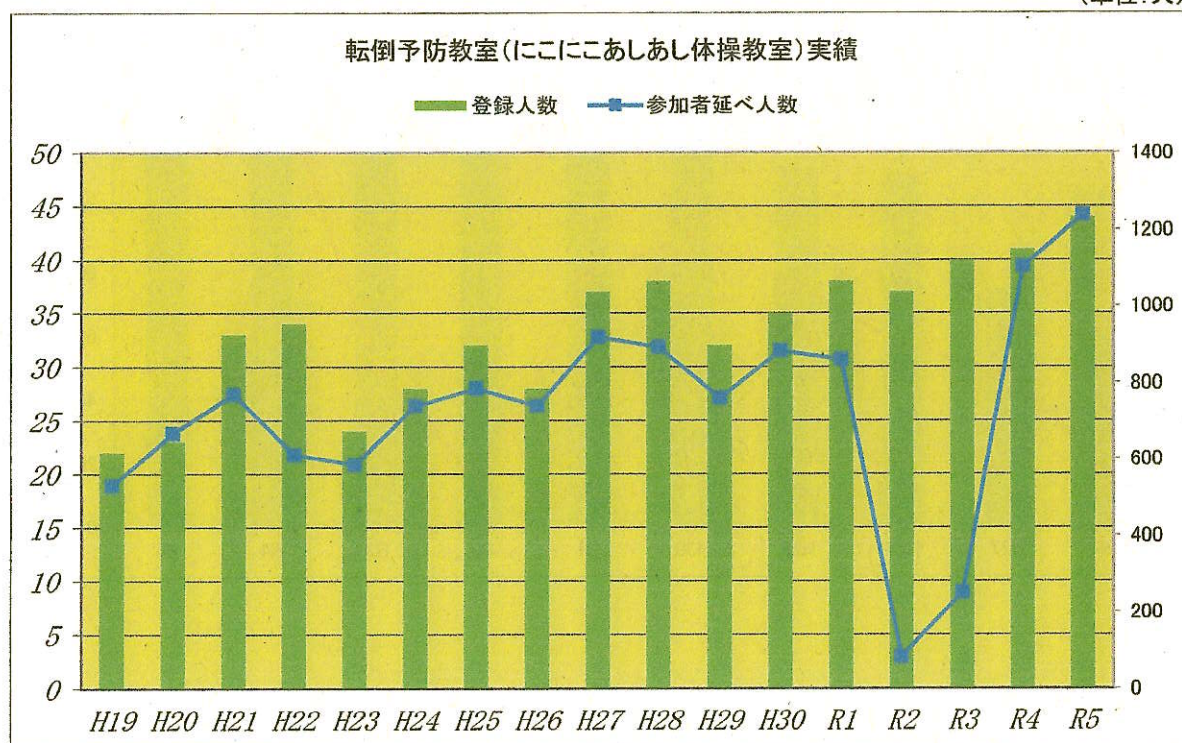
高齢者が転倒骨折等により要介護状態となることを予防し、健康増進を図ることを目的とし、健康運動指導士の指導により下肢筋力の増強・ストレッチ体操等（概ね月4回）と体力測定（年1回）を生涯学習センターせせらぎ館みどりホールで実施しました。

～転倒予防教室（にこにこあしあし体操教室）の動向～

（単位：回、人）

	実施回数	参加者延べ人数	登録人数	計画値	備考
H19	39	530	22	20	一次予防事業
H20	43	666	23	20	
H21	44	770	33	20	
H22	43	610	34	20	
H23	43	584	24	24	
H24	43	739	28	20	
H25	43	785	32	20	
H26	43	739	28	20	
H27	45	918	37	30	一般介護予防事業に変更
H28	45	892	38	30	
H29	46	760	32	30	
H30	47	882	35	30	
R1	43	859	38	30	
R2	12	82	37	30	新型コロナウイルス感染症の影響により一部中止及び人数制限
R3	23	250	40	40	新型コロナウイルス感染症の影響により一部中止及び人数制限
R4	45	1,103	41	40	
R5	47	1,237	44	45	

（単位：人）



④ 認知機能向上教室（脳活性化教室）

認知機能の低下を予防するため、健康運動指導士（理学療法士）による、認知機能の低下を防ぐ講話や実技指導を実施し、年一回体力評価と年度末にアンケートを実施しました。

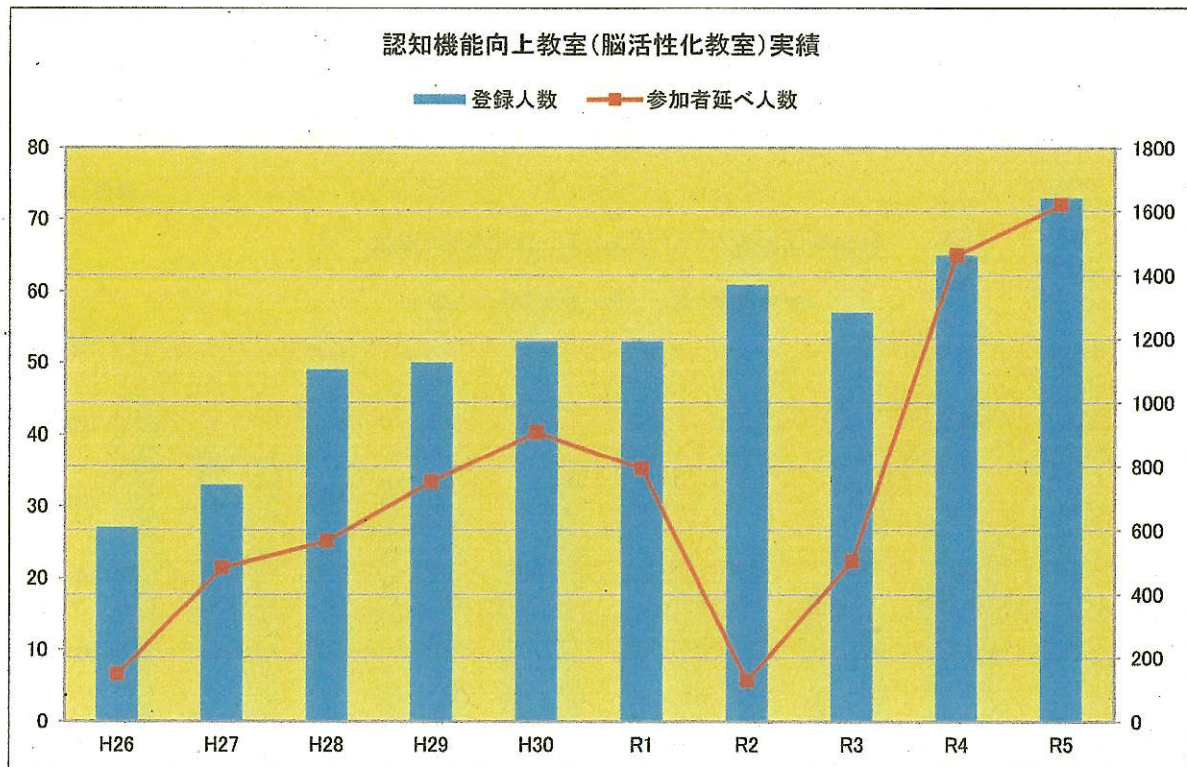
参加人数の増加に伴い、1日（1回）の実施日に2グループに時間を分け、生涯学習センターせせらぎ館みどりホールで行いました。（月3回）

～認知機能向上教室（脳活性化教室）の動向～

（単位：回、人）

	実施回数	参加者延べ人数	登録人数	計画値	備考
H26	11	147	27	-	二次予防事業
H27	24	482	33	-	一般介護予防事業に変更
H28	23	565	49	-	
H29	23	752	50	-	
H30	24	907	53	50	
R1	22	793	53	50	
R2	18	127	61	50	新型コロナウイルス感染症の影響により一部中止及び人数制限
R3	23	503	57	60	新型コロナウイルス感染症の影響により一部中止及び人数制限
R4	36	1,462	65	60	
R5	36	1,620	73	65	

（単位：人）



～認知機能向上教室（脳活性化教室）参加者アンケート集計結果・抜粋～

もの忘れ

	項目	件数	%
1	変わらない	33	60%
2	多くなった	19	35%
3	未回答	3	5%
	計	55	

睡眠

	項目	件数	%
1	良く寝られてる	49	89%
2	寝られない	6	11%
3	未回答	0	0%
	計	55	

動作

	項目	件数	%
1	良く動ける	35	64%
2	動くのが億劫	14	25%
3	未回答	6	11%
	計	55	

体力

	項目	件数	%
1	ある	18	33%
2	落ちたと思う	32	58%
3	未回答	5	9%
	計	55	

※ %については少数点以下の影響で100%にならないことがあります。

(3) 通所型サービス事業

要支援者及び総合事業対象者の引きこもりや認知症予防のため、村社会福祉協議会に委託し、介護の専門の資格をもった方による介護予防・生活指導・運動やレクレーション等を通所の方法により提供し、要介護状態にならないよう心身機能の維持または向上と利用者相互の交流を実施しました。

実施場所	保健福祉センターやまびこ館 1階 機能訓練室
実施回数	週4回（月・火・水・木）
委託先	清川村社会福祉協議会
参加者利用料	400円/日

通所型デザインサービス事業(ほのぼのクラブ)実績

	4月分	5月分	6月分	7月分	8月分	9月分	10月分	11月分	12月分	1月分	2月分	3月分	合 計
H29													
実施日数	12	12	17	11	16	15	17	17	16	14	15	16	178
利用者延べ人数	82	86	105	86	117	98	94	111	105	90	83	93	1,150
登録者数	24	25	25	25	28	26	27	26	26	25	23	22	—

	4月分	5月分	6月分	7月分	8月分	9月分	10月分	11月分	12月分	1月分	2月分	3月分	合 計
H30													
実施日数	16	18	16	11	13	15	18	17	15	15	15	15	184
利用者延べ人数	94	113	108	85	84	104	115	112	101	99	99	94	1,208
登録者数	22	25	26	27	27	26	26	24	25	25	26	25	—

	4月分	5月分	6月分	7月分	8月分	9月分	10月分	11月分	12月分	1月分	2月分	3月分	合 計
R1													
実施日数	16	15	16	11	13	15	16	15	16	15	14	18	180
利用者延べ人数	107	96	110	78	85	101	104	83	90	82	76	95	1,107
登録者数	24	24	24	25	25	23	22	22	22	21	21	21	—

	4月分	5月分	6月分	7月分	8月分	9月分	10月分	11月分	12月分	1月分	2月分	3月分	合 計
R2													
実施日数	10	6	13	13	11	16	17	15	16	16	10	14	160
利用者延べ人数	58	34	73	75	75	101	112	102	111	67	98	139	1,045
登録者数	21	21	21	21	21	21	25	25	24	25	23	24	—

※4/20～5/14の間(12回分)新型コロナウイルス感染症予防のため休止。(4/7～5/14:緊急事態宣言期間)
※5/19～8/25の間(15回分)火曜日休止。

	4月分	5月分	6月分	7月分	8月分	9月分	10月分	11月分	12月分	1月分	2月分	3月分	合 計
R3													
実施日数	16	14	18	14	17	16	16	16	16	15	14	18	190
利用者延べ人数	110	97	138	111	134	124	126	112	109	91	93	121	1,366
登録者数	24	24	25	25	26	27	26	25	26	24	23	23	—

	4月分	5月分	6月分	7月分	8月分	9月分	10月分	11月分	12月分	1月分	2月分	3月分	合 計
R4													
実施日数	16	15	18	13	14	15	16	16	16	15	15	18	187
利用者延べ人数	108	100	126	95	102	103	109	118	116	97	105	121	1,300
登録者数	23	24	24	24	24	23	21	23	23	22	22	22	—

	4月分	5月分	6月分	7月分	8月分	9月分	10月分	11月分	12月分	1月分	2月分	3月分	合 計
R5													
実施日数	16	17	17	12	15	15	17	17	16	15	16	15	188
利用者延べ人数	104	117	114	91	111	108	118	107	101	99	89	94	1,253
登録者数	22	22	23	24	24	23	23	19	19	20	18	18	—

登録者内訳

年度	総合事業	要支援1	要支援2	合計
H29	21	0	1	22
H30	20	3	2	25
R1	14	3	4	21
R2	16	4	4	24
R3	15	4	4	23
R4	14	5	3	22
R5	11	7	0	18

※年度末の登録者内訳

実施場所:後援福祉センターやまびこ館 1階 機能訓練室
実施回数:週4回(月・火・水・木)
(R4から火曜日も週2回利用者のみ停止・どの曜日も週2回利用可能)
委託先:清川村社会福祉協議会
参加者利用料:①400/日
(R4から③300→④400変更)

〈利用料合計〉 単位:円

利用料	345,000
1日あたり平均人数	6.4

〈費用総合計〉 単位:円

委託料	4,010,491
備品購入費	0
合計	4,010,491

〈利用料合計〉 単位:円

利用料	363,900
1日あたり平均人数	6.5

〈費用総合計〉 単位:円

委託料	5,113,641
備品購入費	111,132
合計	5,224,773

〈利用料合計〉 単位:円

利用料	332,100
1日あたり平均人数	6.1

〈費用総合計〉 単位:円

委託料	5,427,215
備品購入費	0
合計	5,427,215

〈利用料合計〉 単位:円

利用料	313,500
1日あたり平均人数	6.5

〈費用総合計〉 単位:円

委託料	3,505,228
備品購入費	48,840
合計	3,554,068

〈利用料合計〉 単位:円

利用料	409,800
1日あたり平均人数	7.1

〈費用総合計〉 単位:円

委託料	5,183,178
備品購入費	0
合計	5,183,178

〈利用料合計〉 単位:円

利用料	520,000
1日あたり平均人数	6.9

〈費用総合計〉 単位:円

委託料	5,623,620
備品購入費	0
合計	5,623,620

〈利用料合計〉 単位:円

利用料	501,200
1日あたり平均人数	6.6

〈費用総合計〉 単位:円

委託料	6,307,047
備品購入費	0
合計	6,307,047

Ⅱ 包括的支援事業

(1) 総合相談支援事業

高齢者の健康や介護など生活全般に関する相談等に対応し、介護保険をはじめ、医療・保健・福祉サービスなどの様々な制度や地域資源を紹介し、適切な支援を行いました。

相談者	本人	家族	住民	ケアマネ	医療機関等	事業者	合計
人数	38名	62名	15名	27名	11名	23名	176名

相談内容	健康関連・生活や福祉関係	介護・支援方法等	介護保険サービス利用関連	権利擁護関連（虐待の疑い含む。）	認知症に関すること	その他	合計
件数	96件	6件	82件	5件	34件	6件	195件

(2) 権利擁護事業

高齢者で認知症等により判断能力に支障があり、権利擁護事業や成年後見制度が必要と思われる方に対し、制度に関する情報提供と利用者支援を実施しました。また、清川村権利擁護推進協議会の会議に出席し、関係機関との連携を図りました。なお、虐待を受けている疑いのある高齢者に関する相談については、令和5年度は5件ありました。

相談者	身体的虐待	経済的虐待	心理的虐待	性的虐待	介護・世話の放棄や放任	合計
本人	0件	0件	0件	0件	1件	1件
近隣住民	0件	0件	0件	0件	0件	0件
ケアマネ	2件	0件	0件	0件	0件	2件
家族	0件	0件	0件	0件	1件	1件
社会福祉協議会	2件	0件	0件	0件	0件	0件
福祉施設等	0件	0件	0件	0件	0件	0件
医療機関	0件	0件	0件	0件	1件	1件
合計	2件	0件	0件	0件	3件	5件

成年後見制度対応件数	1件
------------	----

清川村権利擁護推進協議会	2回
--------------	----

(3) 在宅医療・介護連携推進事業

高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることが出来るよう、地域住民が認知症への理解と適切な予防などについて講演会を開催し、認知症の普及・啓発の促進を図りました。

実施場所	生涯学習センターせせらぎ館 みどりホール
参加者数	33名
講演内容等	令和6年3月21日(木) 講話：認知症になっても希望を持って暮らすために ～地域で一緒にできること～

(4) 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

① ケアマネジャー連絡会等に出席し、情報交換や困難事例の検討・研修会など、業務の連携・向上を図るものです。

ケアマネジャー連絡会等	1回
厚愛地区医療介護連携多職種研修会	「地震発生」 ～その時まで私たちはどう動くのか～
あつぎ介護フォーラム	「健康寿命を延ばそう」 ～医療・福祉・地域は何ができるのか～

② 個別のケアマネジメント支援を通して、関係機関と連携・支援体制の構築を図りました。

サービス担当者会議	44回
-----------	-----

③ 支援困難ケースに対し、保健医療・福祉及び介護等の関係機関、民間サービス事業者やボランティア・各種団体等との連携を図り介護支援を実施しました。

医療機関・サービス事業所等との連携	随時
-------------------	----

(5) 介護予防普及啓発事業

地域包括支援センターの利用促進や各種情報を提供するため、広報紙等による住民への周知を図りました。

広報紙	11月号	住み慣れた清川村でいつまでも元気に暮らせるように～気かけ 声かけ 助け合い♡地域支え合い活動～
	9・2月号	地域包括支援センターにご相談ください
きよかわ地域包括だより		年間4回発行(4・8・10・2月)

(6) 地域包括ケアの推進に向けた地域ケア会議等

高齢者等へ適切な支援のため、社会福祉士・介護支援専門員・保健師等の関係者で個別ケースの検討を行いました。また、検討によって共有された地域の課題を、地域づくりや政策形成に結びつけ、地域包括ケアを推進することに努めました。また、令和5年度は村に関わっている、居宅介護支援事業所から14人のケアマネジャーに参加していただき、「在宅での看取り」をテーマに村の事例をもとにケースへの関わり方や、サービス導入等について学びました。

地 域 個 別 ケ ア 会 議	開催回数：12回 ・事例検討会（要介護者と障がい者の家族支援等） ・地域課題（災害時における避難行動要支援者の避難支援計画について、令和4年度介護保険現況について等）
-----------------	---

(7) 75歳以上高齢者訪問事業

75歳以上の高齢者で、入院や入所をしていない方を対象に、自宅訪問や電話連絡を行い、緊急連絡先の把握や個々の抱えている問題の把握と対応、地域包括支援センターの普及等を実施しました。

年度	訪問対象者数	訪問者数
令和 元 年度	139名	35名
令和 2 年度	141名	68名
令和 3 年度	98名	61名
令和 4 年度	90名	23名
令和 5 年度	129名	59名

(8) 介護者交流会（みかんの会）

介護者の身体的・精神的負担を軽減するため、専門家からのアドバイス、ウォーキングやゲーム等を実施し、介護者相互の交流会を開催しました。また、認知症カフェでは、厚木市の家族会のメンバーと交流を図りました。

実 施 場 所	保健福祉センターやまびこ館 他
実 施 回 数	年間4回（5・8・11・2月） ※11月は、認知症カフェと合同開催
参 加 者 数	34名（延べ人数・11月は介護者交流会メンバーのみ）
きよかわ介護者交流会だより	年間4回発行（5・8・11・2月）

(9) 清川村生活支援体制整備事業

生活支援コーディネーターと住民が参画し、定期的な情報共有及び連携・協働による助け合い社会を推進するため、清川村生活支援体制整備事業推進連絡会（清川村支え合い体制づくり協議体）を開催しました。

協議体及び各地区のサロン活動の担い手の方を対象に、地域活動での課題となっている「コミュニティ活動が災害に強い地域を作る」研修会を実施しました。

また、地域における通いの場（サロン活動）に生活支援コーディネーターとして参加し、地域活動の状況把握や新たなサロン活動の創設などを行いました。

清川村生活支援体制整備事業推進連絡会（協議体）

実 施 回 数	年間1回（1月）
構 成 団 体	民生委員児童委員協議会、社会福祉協議会、地域包括支援センター、地域で活動する団体（緑ことぶき連合会、煤ヶ谷婦人会）、厚木警察署、子育て健康福祉課

支えあい体制づくり研修会

実 施 場 所	生涯学習センターせせらぎ館、みどりホール
実 施 回 数	年間1回（2月）
研 修 内 容	「コミュニティ活動が災害に強い地域を作る」 講師：認定NPO法人かながわ311ネットワーク 防災士 防災教育ファシリテーター 理事 防災教育事業担当 石田 真実 氏

通いの場（サロン活動）

実 施 場 所	自治会館等
生活支援コーディネーターの参加回数	33回 ・みずうみの会 12回（宮ヶ瀬地区） ・仲良しクラブ 1回（曲師宿・古在家） ・寺家の谷サロン 5回（寺家谷戸・谷太郎） ・サロンなでしこ 4回（下原・根岸） ・サロンあおな 4回（中里・大野・新屋敷） ・かわせみの会 5回（柳梅・片原） ・えがおの会 2回（沖金翅・前金翅・宮野御門・寺鐘地区）

(10) 清川村認知症総合支援事業

認知症の早期発見や早期対応を目的とし、認知症サポート医や保健師、社会福祉士などで構成された認知症初期集中支援チームを設置しており、本人や家族からの相談により、認知症と疑われる方や認知症の方および家族を訪問し、アセスメント（専門職で情報を収集し分析すること）や、家族支援などの初期の支援を包括的・集中的に行い、医療や介護サービスなどにつなぎ、自立した生活ができるようサポートを行っています。なお、認知症初期集中支援チームへの令和5年度の相談はありませんでした。

また、認知症地域支援推進員として認知症サポーター養成講座やステップアップ講座を社会福祉協議会と連携し実施しました。

令和5年度は、新たにチームオレンジを10チーム立上げました。

相 談 件 数	0件
---------	----

認知症初期集中支援チーム員会議	0回
-----------------	----

認知症カフェ	実施場所	生涯学習センターせせらぎ館 みどりホール
	実施回数	年間1回（11月）
	参加者数	29名 ※煤ヶ谷婦人会がチームオレンジとして参加

広報啓発活動	広報紙 9月号	9月21日は「世界アルツハイマーデー」
	清川村図書館内のお薦め本コーナーに、認知症関連の本及びチラシを配架し、啓発活動を実施。 実施期間：9月1日から9月30日まで （世界アルツハイマー月間期間中）	

～チームオレンジ・実績～

年度	計画 値 (チーム 数)	総合 計 (チーム 数)	R5 計 (チーム 数)	①			②
				第1類 (新規拠点設置)	第2類 (既存拠点活用)	第3類 (非拠点)	3つの基本は満た さないものの、仕組 みを構築
R5	3	16	11		紡ぎの集い 仲良しクラブ 柿坂サロン えがおの会 サロンなでしこ かわせみの会 サロンあおな 寺家の谷サロン	地域見守り事 業（No.2）	移送サービス運転 員 介護予防教室参加 者

【認知症サポーター養成講座及びステップアップ講座 実施内訳】

年度	チームオレンジ（団体）	受講人数(人)	うち①、②
R5	紡ぎの集い	11	①
R5	地域見守り事業(No.2)	9	①
R5	移送サービス運転員	4	②
R5	仲良しクラブ	4	①
R5	柿坂サロン	1	①
R5	えがおの会	5	①
R5	サロンなでしこ	1	①
R5	かわせみの会	4	①
R5	サロンあおな	3	①
R5	寺家の谷サロン	1	①
R5	介護予防教室参加者	6	②
R5合計		49	①9、②2

※令和4年度までの実績は5チーム(50人)

令和5年度はステップアップ講座として、VRを使った認知症体験の講座を実施しました。

- ・『チームオレンジ①』：コーディネーター研修テキスト「認知症サポーターチームオレンジ運営の手引き」で示されている「チームオレンジの三つの基本」を満たすもの
 - ①ステップアップ講座修了及び予定のサポーターでチームが組まれている。
 - ②認知症の人もチーム員の一人として参加している。（認知症の人の社会参加）
 - ③認知症のひとと家族の困りごとを早期から継続して支援ができる。
- ・『チームオレンジ②』：3つの基本は満たさないものの、本人・家族のニーズとステップアップ講座を受講した認知症サポーターを中心とした支援をつなぐ仕組みが構築されているもの

(11) 健康寿命延伸事業（お元気測定会）

高齢者の自立した生活の実現と健康寿命の延伸を図るため、通いの場（サロン）5か所において保健師による健康指導や管理栄養士による栄養相談、体力測定・運動指導を行い、保健予防と介護予防を一体的に実施しました。

実施場所	自治会館等
開催サロン	みずうみの会（宮ヶ瀬地区）
	仲良しクラブ・柿坂サロン（曲師宿・古在家・柿ノ木平・坂尻）
	えがおの会（沖金翅・前金翅・宮野・御門・寺鐘）
	ふれあいの日 紡ぎの集い（金翅沖・金翅前・清水ヶ丘）

Ⅲ 任意事業

(1) 日常生活用具給付事業

要介護者・要支援者及び介護予防・日常生活支援総合事業対象者に対し、日常生活用具の機能維持・自立促進及び介護者の負担を軽減することを目的におむつや尿とりパットなどの給付が受けられる日常生活用具給付券を交付しました。

登録者数：49人（3月末時点）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	
36人	41人	44人	41人	44人	43人	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	支給者合計
44人	47人	48人	39人	50人	42人	427人

※支給者合計は延べ人数

第1回清川村介護保険運営協議会及び清川村地域包括支援センター運営協議会
・質問等について

【ご質問】

	内 容	回 答
1	資料1 14ページ 繰入金が前年度に比べ、増えているが、その要因は(繰入金の内訳を教えてください)	繰入金:内訳 ・他会計繰入金:58,703,507 円 ・基金繰入金 : 4,000,000 円 合計:62,703,507 円 サービス費の増加により、基金の取り崩しを行ったことと、介護給付費繰入金(村負担分:12.5%)が前年度より増えたためです。
2	資料1 15 ページ 令和4年度では不能欠損処分の内訳が示されていますが、令和5年度は示されていないのは何故ですか。	令和 5 年度は、不能欠損処分の該当者がなかったため、資料はありません。
3	資料1 16ページ 審査判定件数より要支援・要介護認定者数が少ないのはどのような理由があるのですか。	6. 介護認定審査状況の審査判定件数185件は、年間の延べ件数で、7. 要支援・要介護認定状況の合計157人は、R6.3 月末時点での認定者数です。介護認定審査は、区分変更申請や、審査判定後に死亡された方も件数に含まれているため、認定者数より多くなっています。
4	資料1 22ページ 令和5年度介護認定申請理由一覧がのっているが、令和4年度の実績を教えてください	令和4年度の実績は、別紙追加資料1のとおりです。 令和4年度と令和5年度を比較すると、全体と更新のみでは、認知症や脳血管疾患が上位あり大きな変動はありません。 新規のみでは令和4年度は「脳血管疾患」が最も多く、令和5年度では「その他」となっております。

【ご意見等】

	内 容	回 答
1	神奈川県の中で清川村は近隣市町に比べ、高齢化率も高く、介護認定を受ける人の高齢化に伴い重度化している人が多いので、一人当たり給付月額が高い。 資料 No.2 にあるように介護予防事業も年々充実しており、保険者機能強化推進交付金及び保険者努力支援交付金は上位の評価となっており、引き続き努力をお願いしたい。 介護保険制度の中で、小規模自治体は制度の PR とともに利用が増えるのは、判るが、第9期介護保険事業計画の中では、基金等を活用して、介護保険料の増を抑えて欲しい。	第9期計画期間における保険料は、確定しているため、第10期計画策定に向けて、今後も、介護予防事業の取り組みを強化し、重度化予防や、基金等の活用をし、介護保険料の増額を抑えるよう努めてまいります。ご意見ありがとうございます。

別紙追加資料1

令和4年度介護認定申請理由集計一覧

疾患名等 1:脳血管疾患 2:認知症 3:高齢による衰弱 4:関節疾患 5:骨折・転倒 6:心疾患 7:パーキンソン病
 8:糖尿病 9:呼吸器疾患 10:悪性新生物(がん) 11:視覚・聴覚障害 12:腰痛・脊髄疾患 13:腎疾患
 14:精神疾患 15:その他
 (※選択肢は、厚生労働省国民生活基礎調査による区分けに腎疾患、精神疾患を追加したもの。)

全体

申請理由内訳	件数	順位
1 認知症	54	1
2 脳血管疾患	27	2
3 骨折・転倒	16	3
4 その他	16	3
5 関節疾患	15	5
6 腰痛・脊髄疾患	11	6
7 悪性新生物	10	7
8 心疾患	9	8
9 糖尿病	5	9
10 パーキンソン病	3	10
11 腎疾患	2	11
12 呼吸器疾患	1	12
13 精神疾患	1	12
14 高齢による衰弱	0	
15 視覚・聴覚障害	0	
合計	170	

新規のみ

申請理由内訳	件数	順位
1 脳血管疾患	7	1
2 認知症	6	2
3 悪性新生物	6	2
4 骨折・転倒	5	4
5 心疾患	4	5
6 関節疾患	2	6
7 腰痛・脊髄疾患	2	6
8 その他	2	6
9 パーキンソン病	1	9
10 糖尿病	1	9
11 高齢による衰弱	0	
12 呼吸器疾患	0	
13 視覚・聴覚障害	0	
14 腎疾患	0	
15 精神疾患	0	
合計	36	

更新のみ

申請理由内訳	件数	順位
1 認知症	42	1
2 脳血管疾患	19	2
3 関節疾患	11	3
4 その他	11	3
5 骨折・転倒	10	5
6 腰痛・脊髄疾患	8	6
7 心疾患	5	7
8 糖尿病	4	8
9 悪性新生物	4	8
10 パーキンソン病	2	10
11 腎疾患	2	10
12 呼吸器疾患	1	12
13 精神疾患	1	12
14 高齢による衰弱	0	
15 視覚・聴覚障害	0	
合計	120	

変更のみ

申請理由内訳	件数	順位
1 認知症	6	1
2 その他	3	2
3 関節疾患	2	3
4 脳血管疾患	1	4
5 骨折・転倒	1	4
6 腰痛・脊髄疾患	1	4
7 高齢による衰弱	0	
8 心疾患	0	
9 パーキンソン病	0	
10 糖尿病	0	
11 呼吸器疾患	0	
12 悪性新生物	0	
13 視覚・聴覚障害	0	
14 腎疾患	0	
15 精神疾患	0	
合計	14	

